

私たちは、国語の授業で戦争について習いました。本などでも調べました。その本の中でも私は「ノーモア・ヒロシマ・ナガサキ」という本をしょうかいします。

内容・・・ヤケドをおった人の写真や詩、原子爆弾を投下された時のきのこ雲、原爆の火で焦げたお弁当などがのっている。

興味をひく所・・・私が1番興味を持ったのは、8時15分で止まった。時計でした。

誰のだか分からないのに見つかったのはすごい事だし、8時15分で止まったまま残っていたことが何よりすごいなあ～と思いました。

2番目に興味を持ったのは、防空壕から見つかった白骨死体です。ほとんどの人は、肉が焦げてしまっているのに防空壕から見つかった死体には焦げた肉がなく白骨で見つかったので疑問でもあるしすごいとも思いました。

ほかにも、発見された学生服やケロイドの男性・女性、工場の中にいた人は亡くなったがただ一つ残ったぞうりなど色々な物の写真が載ってました。

感想・・・私は、平和な今を生きているけど65年前は広島と長崎だけでなく東京などにも爆弾が落とされて何千万人もの人が死んだので大変な時だったんだなあ～と思いました。これからは、戦争のない世の中にしていけたらいいです。

